

# パネルディスカッション第2弾

特例子会社3社の社長が語る

# 法定雇用率達成に向けて

- 今企業は何を考え何をすべきか -

## パネリスト



株式会社ラクスマらい  
代表取締役社長  
**中島 晋平**

グループ企業内で障がいのある方がやりがいをもって取り組める業務を1年間で78業務を抽出。36名障がい者を雇用して、グループのバックオフィス業務を支えています。



株式会社ベネッセビジネスメイト  
代表取締役社長  
**茶谷 宏康**

一人ひとりがそれぞれの強みを発揮することで「なくてはならない存在」となり、「貢献感」と「誇り」を実感しながら長く活躍していける場所、ベネッセビジネスメイトはそんな会社を目指しています。



東京都ビジネスサービス株式会社  
代表取締役社長  
**根津 史明**

幅広い障がい者の雇用・活躍・成長をDE&I視点で仕組み化を進め高い雇用率と定着率を実現。外販中心で業務範囲を拡大し、5年で100名以上の増員を実現しつつ特例子会社単体での黒字化したノウハウをお伝えします。

4月から、いよいよ障がい者の法定雇用率が2.5%に引き上げられます。達成するために、採用活動に力を入れなければならないのは当然ですが、果たして、それだけで障がい者雇用は進んでいくのでしょうか。

採用の先には職場定着があり、成長・活躍があるはずで。

一人ひとりが活躍できる環境づくりやキャリア形成をどうしていくのか、といった雇用の質が雇用率向上のためには重要なポイントです。雇用の質をどう採用にプラスにさせていくのか、考えるべき点はここにあります。

今回は、特例子会社の中でも個性的な3社が、自社の取組みや課題、今後目指している姿などをお伝えします。

障がい者雇用に関わるトップから現場まで、全ての方に障がい者雇用のヒントが見つかるのではないのでしょうか。

日程

2024 **3.8** Fri  
14:00~16:00

- 実施方法 : Web (Microsoft Teams)
- 参加費 : 有料 2,000円
- 申込締切 : 2024年3月1日 (金曜日)

お問合せ

☎ 03-6426-0464  
✉ seminar@tokyotobs.co.jp

お申込み

QRよりお申込みください。予約者情報を送信いただきましたら、弊社よりセミナー参加URLを送信いたします。

